

事業名		和光北インター東部地区まちづくり推進					事業コード	1177030	計画コード	9-1-1				
款	08	土木費			項	03	都市計画費				目	01	都市計画総務費	
所属名(部局・課)		都市整備部				都市整備課				担当名		区画整理担当		
施策		9-1	交通の利便性を生かした産業拠点の創出											

1. 事業の概要

事業の対象	和光北インター東部地区事業区域地権者及び関係権利者
意図・目的	和光北インター東部地区において優良なまちづくりを推進する。
活動概要	和光北インター東部地区における土地区画整理事業化を推進する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	①	(仮称)和光北インター東部地区土地区画整理組合設立認可	%	80	90	100	100	－	－
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費 財源内訳	予算額	千円	37,532	6,793	4,458		－	不用額
		決算額	千円	36,267	6,793	4,457		1	
		一般財源	千円	36,267	6,793	4,457		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0		100.0%	
成果の説明	令和5年度は都市計画の手続、環境影響評価書の作成を行った。また、事業計画及び組合の定款について権利者の同意取得を進め、10月6日に組合設立認可に至った。 【概要】 ・編入区域面積 41.4ha ・区画整理事業区域面積 38.1ha ・地権者数 241名(認可申請時) 【指標の説明】 組合設立認可までの工程区分(①発起人会設立、②準備会設立、③施行区域の決定、④事業計画作成、⑤組合設立認可)による進捗割合とし、当該認可の取得をもって100%とする。								

3. 事業の課題

課題	特になし。
----	-------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☒ 終了(廃止・休止)
	組合設立認可に至ったため、組合活動支援に移行し、本事業は終了する。

事業名			和光北インター東部地区土地区画整理組合活動支援					事業コード	1178508	計画コード	9-1-2		
款	08	土木費			項	03	都市計画費			目	02	土地区画整理費	
所属名(部局・課)			都市整備部			都市整備課				担当名		区画整理担当	
施策			9-1	交通の利便性を生かした産業拠点の創出									

1. 事業の概要

事業の対象	和光北インター東部地区土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者
意図・目的	和光北インター東部地区土地区画整理事業の安定した運営及び安心・安全の優良なまちづくりを推進する。
活動概要	和光北インター東部地区土地区画整理事業を推進する。(仮換地指定に伴う各種業務・区画道路整備工事・宅地造成工事・上下水道、公園等築造工事・建物移転・物件補償)

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	仮換地指定面積	%	—	—	0.0	0.0	100	100	
	②	事業費ベースの進捗率	%	—	—	0.8	0.8	15.6	24.9	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	—	—	200,000		700,000	不用額
		決算額		千円	—	—	200,000		0	
		一般財源		千円	—	—	116,900		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	—	—	83,100		100.0%	
成果の説明	・令和5年10月6日 都市計画決定及び組合設立認可 ・令和5年度については、令和6年度の仮換地指定に向けた調査設計業務を行った。									

3. 事業の課題

課題	新たな産業拠点の創出に向けて、早期に公共施設の整備を進めることが必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	計画的に事業運営を進めていく。

事業名		商工業務					事業コード	1164001	計画コード	9-2-1		
款	07	商工費			項	01	商工費		目	02	商工業振興費	
所属名(部局・課)		市民環境部				産業支援課			担当名	産業育成支援担当		
施策		9-2	中小企業・小規模事業者の育成支援									

1. 事業の概要

事業の対象	中小企業、小規模事業者、個人事業主
意図・目的	市内中小企業、小規模事業者、個人事業主を支援する。
活動概要	商工会と連携し、市内商工業を発展させる。市内中小企業が事業資金を金融機関から借り入れることができるよう埼玉信用保証協会の保証がある融資を市が依頼するとともに支払利子の1/2を補助する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	企業市民認定数	件	158	166	109	160	112	80		
	②	利子補給補助件数	件	77	62	54	70	70	70		
	③	商工会相談事業件数	件	1,472	2,146	2,284	2,000	2,000	2,000		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	22,207	43,849	17,693		17,374	不用額	
		決算額		千円	14,769	31,651	14,261			3,432	
		財源内訳	一般財源		千円	10,934	15,054		14,261		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	3,835	16,597		0		80.6%
成果の説明	市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、融資制度を実施。										
	【中小企業融資関係】 ・中口資金融資 運転資金4件 設備資金1件 金額 34,760千円 ・特別小口資金融資 運転資金2件 設備資金0件 金額 8,000千円 ・セーフティネット保証の認定 37件 (中小企業信用保険法第2条第5項、第6項に該当する経営の安定化に支障を生じている中小企業を市長が認定し、信用保証協会の保証限度額の別枠融資を申し込むことができる制度) ・中小企業融資利子補給補助金 件数 54件 金額 1,443,321円 ・工場等の移転利子補給補助金 件数 1件 金額 603,000円 【商工会相談事業】 ・経営支援員等による巡回訪問、窓口相談・指導 ・経営改善に資する講習会・研修会 ・各種専門家等を委嘱しての個別相談会・指導会 ・国・県・市等制度融資等の利用に関する相談・指導 ・税務に係る講習会、研修会、指導会 ・各種労務相談、指導等の実施										

3. 事業の課題

課題	企業市民制度について、市内事業者における知名度が低い、認定されるメリットが不明確、企業市民活動(CSR)を促進する制度として不十分という課題がある。 中小企業融資制度について、申請時の提出書類が煩雑であることや、申請期日が設けられていることが、中小企業者にとって制度を活用しにくいという課題がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	企業市民制度の内容について、市内事業者の企業市民活動を促進するための制度となるよう見直しを実施する。 中小企業融資制度について、制度の内容及び事務手続きの改善を図り、和光市中小企業融資規則の改正を行う。 商工会相談事業はこのまま事業を継続する。

事業名		新産業創出育成支援						事業コード	1164002	計画コード	9-3-1		
款	07	商工費			項	01	商工費			目	02	商工業振興費	
所属名(部局・課)		市民環境部				産業支援課				担当名	産業育成支援担当		
施策		9-3	魅力ある新たな産業の創出										

1. 事業の概要

事業の対象	和光理研インキュベーションプラザ入居企業及び市内事業者
意図・目的	新技術開発等により企業の成長を目指す。また市内事業者と連携を図り事業を発展成功させる。和光理研インキュベーションプラザ卒業後は、市内に定着し、地元での雇用創出を促し、地域の産業を活性化させる。
活動概要	インキュベーションマネージャーを派遣し和光理研インキュベーションプラザ入居企業や地域企業への支援を行う。また、和光理研インキュベーションプラザ入居企業に対して賃料補助を行い経営基盤のサポートを行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	賃料補助件数	件	5	4	1	5	5	5	
	②	和光理研インキュベーションプラザの入居企業数	社	24	18	18	28	28	28	
	③	国庫補助金等獲得件数	件	17	6	6	25	25	25	
	④	和光理研インキュベーションプラザの卒業企業数(累計)	社	25	30	33	26	38	43	
	⑤									
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	5,910	4,228	3,728		3,928	不用額
		決算額		千円	5,312	3,526	3,027			701
		一般財源		千円	5,312	3,526	3,027			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0			81.2%
成果の説明	【インキュベーションマネージャー派遣】 ・和光理研インキュベーションプラザに市からインキュベーションマネージャーを派遣。 ・インキュベーションマネージャーは下記の項目について経営支援を行っている。 ・資金調達(新規株式、種類株式、新規ローン等、VC・ファンドとの協議) ・事業計画策定、経営相談 ・契約書等の相談 ・理化学研究所との連携 ・産産連携 ・HP作成、企業紹介動画作成 ・補助金支援									
	【インキュベーションプラザ入居状況と卒業後の進路】 ・複数の部屋を使用している企業も多く、空き室は令和6年3月31日時点で3部屋のみである。 ・入居に関する問合せは多く、和光理研インキュベーション設置から15年以上が経ち知名度も向上している。 ・インキュベーションプラザ卒業企業が市内で事業を継続している例は4事業者のみである(令和5年度末時点)。									
	【インキュベーションプラザ入居企業との連携】 ・インキュベーションプラザ入居企業3社が和光市民まつり2023に出店。研究内容を体験するブースを設置した。 ・和光市コミュニティ協議会主催講座「コケ玉講座」の講師としてインキュベーションプラザ入居企業1社が参加した。									

3. 事業の課題

課題	和光理研インキュベーションプラザ設置から15年以上経過し、『和光新事業創出型事業施設「和光理研インキュベーションプラザ」整備事業に関する覚書』を踏まえ、関係機関(県、中小機構)による入居企業への支援が変更される可能性があるため、動向を注視するとともに支援内容等について協議する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	インキュベーションマネージャーや和光市商工会と連携しながら、入居企業との関係強化、ニーズの把握を行い活性化を図っていく。和光理研インキュベーションプラザで経営力をつけた卒業企業が市内に定着して事業を継続するための支援策を検討する。

事業名		農業振興業務					事業コード	1161001	計画コード	9-4-1
款	06	農林水産業費			項	01	農業費			
所属名(部局・課)		市民環境部				産業支援課		担当名	農業振興担当	
施策		9-4	都市農業の推進と担い手の育成							

1. 事業の概要

事業の対象	農業者、市民
意図・目的	都市農業の安定的な継続を図り、都市農業が有する機能を適切かつ十分に発揮させるとともに、農家集落や農業団体などの組織を活性化させる。
活動概要	市内農業者全体の農業振興事業として、農家集落や農業団体などの組織活性化を促す活動支援を行う。 優良農地を保全するため、農業団体による清掃活動の支援を行う。また、都市部の農業振興及び農業理解を深めるための事業を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度			
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値			
活動実績	①	農家だより配布数	部	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900			
	②	清掃活動によるごみの量	kg	3,600	3,120	4,430	3,000	3,000	3,000			
	③	農業用プラスチック収集処理事業数	回	2	2	2	2	2	2			
	④	都市農業支援補助金申請件数	件	21	17	18	20	20	20			
	⑤	農業後継者倶楽部事業回数	回	2	2	2	2	2	2			
費用	事業費	予算額		千円	6,018	6,203	6,622		6,236	不用額		
		決算額		千円	4,717	5,508	5,679			943		
		財源内訳	一般財源		千円	3,616	5,113			5,333	執行率	
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,101	395			346	85.8%	
成果の説明	農家だよりに啓発記事を掲載したことにより、農地の管理や良質な営農環境の維持を促すことができた。また、農業者や農業者団体の協力により清掃活動を行った。営農環境の保全を行うことで、農業者の営農意欲の向上に併せ、市民の農地保全の意識が醸成された。											
	農産物に対する安全安心の志向の高まりや生産者の販売の多様化を推進するため、新たな事業を行う農業者及び農業者団体に対して各種支援を実施した。											
	(1)観光農園推進事業											
	①観光農園推進											
	<table><tr><td>じゃがいも</td><td>1戸(下新倉地区) 53名参加</td></tr><tr><td>とうもろこし</td><td>1戸(新倉地区) 192名参加</td></tr></table>									じゃがいも	1戸(下新倉地区) 53名参加	とうもろこし
じゃがいも	1戸(下新倉地区) 53名参加											
とうもろこし	1戸(新倉地区) 192名参加											
②学校給食への農産物供給												
<table><tr><td>農業団体による総供給量内訳</td><td>野菜16品 21,321kg とうもろこし 2,140本 枝豆 900株 味噌 43kg</td></tr></table>									農業団体による総供給量内訳	野菜16品 21,321kg とうもろこし 2,140本 枝豆 900株 味噌 43kg		
農業団体による総供給量内訳	野菜16品 21,321kg とうもろこし 2,140本 枝豆 900株 味噌 43kg											
③農業用廃プラスチック収集処理事業 令和5年8月30日 ポリエチレン類(1,590kg 14戸) 令和6年3月6日 ポリエチレン類(1,260kg 19戸)												
【続きあり】												

3. 事業の課題

課題	市民の農業への関心が高まる一方、観光農園を実施する農業者が減少しつつあり、市民が農業体験できる機会を新たに検討する必要がある。和光市都市農業支援事業補助金の、利用期間の縛りがあるため利用しづらいとの声がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	農業団体に対して、農業体験への協力を依頼するなど、観光農園を確保するとともに市民の都市農業への理解を向上させる。農業者が今後も農業を続けていきやすい環境を作り、農地及び農業経営環境の保全を図っていく。意欲のある農業者が利用しやすくするため、和光市都市農業支援事業補助金の見直しをする。

(2)都市部における農業経営者の育成、支援及び後継者の相互交流

①和光市農業後継者倶楽部 会員14名

②和光市農業後継者倶楽部による収穫体験の実施

じゃがいも堀体験	
1幼稚園	3保育園

③遊休農地の発生抑制のための花景観形成交流事業

コスモス畑 1か所、チューリップ 1か所

(3)近代的でより生産性の高い農業を確立するため、農業制度資金の貸し付けに係る1%以内を利子補給

継続3件 利子補給金額 76,236円

(4)農業経営の改善に取り組む農業者が実施する施設設備、機械導入等の事業に対して補助金を交付

和光市都市農業支援事業補助金 交付件数:18件 交付総額:2,441,000円

(5)農業団体の協力を得て、軽トラックを使用した地元野菜等の移動販売を実施するとともに、地域で生産された農産物等のPRを実施

・軽トラ市 開催数:18回

・採れたて野菜まちかど販売所 開催数:7回

ふるさと民家園 開催数:2回、わこらぼまつり 開催数:1回、シーアイハイツ夏祭り 開催数:1回、南公民館まつり 開催数:1回

ユメアイ野菜販売 開催数:1回、新倉高齢者センター 開催数:1回

事業名		市民農園管理運営				事業コード	1162001	計画コード	9-4-2
款	06	農林水産業費			項	01	農業費		
所属名(部局・課)		市民環境部				目	03	農業振興費	
施策		9-4	都市農業の推進と担い手の育成						
		産業支援課				担当名		農業振興担当	

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住者又は在勤者
意図・目的	都市農業のあり方や実態に対して理解を深める。また、農業を通じた市民との交流を促進する。
活動概要	市内農業者等が講師となる各種農業関連講座及び各種イベントを実施する。また、市民に市民農園の貸し出しを行い、市民農園利用者への農業相談を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	市民農園面積	㎡	10,755	10,275	9,825	10,755	10,725	10,725		
	②	農業指導や講習会参加者数	人	750	677	721	700	750	750		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	4,518	4,810	4,935		4,943	不用額	
		決算額		千円	4,110	4,693	4,650			285	
		財源内訳	一般財源		千円	-94	840			662	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	4,204	3,853			3,988	94.2%
成果の説明	優良農地の保全及び都市住民の憩いの場として、市民農園事業を展開し都市と農業の交流を図った。 1 市民農園の区画貸し出しと農業体験の場を提供するとともに野菜作り等の講座を実施した。 (1) アグリパーク市民農園 15㎡タイプ/145区画 30㎡タイプ/255区画 (2) 市民団体との協働事業として農業体験センター及び市民農園管理を行う。 ① 農業体験センター及び市民農園管理運営 ② 市農業振興事業補助(農業者・農業者団体との連絡調整、各種事業の受付業務) ③ 個別事業 ア 野菜づくり講習会と農業相談 ・農業相談を随時開催 ・農業講座等 8回 156名 イ イベント開催 ・市民農園景観立毛品評会 受賞者25名 ・コスモス摘み取り ・若者世代が考える「農」と親しむイベントの代替イベント 新倉七夕飾り 336名 ウ 農業体験 2回 ・じゃがいも植え付け体験 5名 ・じゃがいも収穫体験 199名										

3. 事業の課題

課題	一部の利用者が管理を怠り、周辺農園の作物に影響が生じるときがある。 市民農園の利用率が100%に近く、キャンセル待ちが出ることもあるため、区画の拡充が必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市民農園の適正適切な管理について、周知するとともに、施設の不具合については別途事業を予算化し、修繕管理に努める。 今後も市民が都市農業に対して理解をし、農業を通じて交流する場として事業を実施していく。

事業名		労働業務				事業コード	1152001	計画コード	9-5-1		
款	05	労働費		項	01	労働諸費		目	01	労働総務費	
所属名(部局・課)		市民環境部			産業支援課			担当名	産業育成支援担当		
施策		9-5	就労支援対策の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	中高年、身体障害者、在勤者
意図・目的	中高年、身体障害者等の就職促進を図る。 健康で働くことの喜びや充実感を醸成する。
活動概要	【労働業務】求職者の就職促進を図るため関係機関と連携を図り、求人情報等を積極的に発信する。 【技能者表彰】市内事業者で、長年にわたり従事し、技術・技能の向上及び後進の育成等に貢献した者を表彰する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	就職面接会等参加人数	人	62	129	181	30	100	100		
	②	技能者表彰者数	人	5	4	4	7	6	6		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	187	163	150		138	不用額	
		決算額		千円	144	163	130			20	
		財源内訳	一般財源		千円	144	163		130		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		86.7%
成果の説明	【労働業務】 ・令和5年7月14日 和光市役所において「就職支援セミナー＆個別就職相談会」を開催。 共催 埼玉県、和光市 参加者 就職支援セミナー41名、個別就職相談会7名(全てセミナー参加者) ・令和5年11月28日 志木市民会館仮設会議室において「シニア世代対象就職面接会」を開催。 主催 志木市、ハローワーク朝霞、朝霞地区雇用対策協議会 共催 和光市、朝霞市、新座市 参加事業者 17社 参加者 76名 ・令和6年2月15日 和光市民文化センターにおいて「朝霞・和光地域合同就職相談会」を開催。 主催 和光市、朝霞市、ハローワーク朝霞、埼玉県 協力 朝霞地区雇用対策協議会 参加事業者 8社 参加者 48名 ・令和6年2月28日 志木市民会館仮設会議室において「就職準備基礎セミナー」を開催。 主催 和光市、志木市、朝霞市、新座市 参加者 16名 【技能者表彰】 市内事業者の優れた技術や功績を持ち、後進の育成を図った技能者を表彰し、技術・技能を保有する市内事業者を公表した。 技能功労者 3名 優良技能者 1名										

3. 事業の課題

課題	就職相談会や就職支援セミナーについて、県・近隣市との共催事業に依存している。 技能者表彰について、近年対象者が少なくなっており、表彰人数が減っている。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	県のセミナー、相談会について、引き続き共催の希望を提出し、市民の就職準備に供するサービスを充実させる。 共催事業について、広報を強化することで参加人数を増やし、各事業の効果を向上する。 技能者表彰については、引き続き和光市表彰と合同で表彰式を実施する。

事業名			勤労福祉センター管理運営					事業コード	1153001	計画コード	9-5-2		
款	05	労働費			項	01	労働諸費			目	01	労働総務費	
所属名(部局・課)			市民環境部				産業支援課			担当名		産業育成支援担当	
施策			9-5	就労支援対策の推進									

1. 事業の概要

事業の対象	市民、在勤者
意図・目的	いつでも気軽に利用でき、日常生活の中で、心身が健康調和で豊かな状態になるようにする。
活動概要	・登録団体に対しアリーナ、和室、会議室の貸出を行う。またアスレチックルームに卓球台やフィットネスバイク等を設置し、市内在住・在勤者が運動を気軽に楽しむことができる環境を整える。 ・勤労者向けの講座・イベントを開催し、施設の利用促進を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	開館日数	日	311	328	309	347	307	308	
	②	自主事業講座開催数	回	603	270	9	6	8	8	
	③	利用者数	人	22,799	20,371	18,268	25,000	25,000	20,000	
	④	講座参加者数	人	4,135	2,062	200	—	—	200	
	⑤									
費用	事業費 財源内訳	予算額		千円	42,287	44,704	23,677		20,041	不用額
		決算額		千円	42,279	42,091	18,655			5,022
		一般財源		千円	42,279	40,439	15,699			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	1,652	2,956			78.8%
成果の説明	令和4年9月30日までは指定管理者であるシンコースポーツ株式会社による運営だったが、令和4年10月1日から市の直営により勤労者の福利厚生と市民の健康増進を目的とする施設として運営。									
	①開館日数 毎週月曜日(月曜日が祝日の時は翌日火曜日)及び年末年始(12月29日～1月3日)以外 ②自主事業講座 一運営方式の変更により、令和5年度は市主催の講座・イベントを開催。 市主催講座・イベント ・講座 6回開催 延べ95人 (1)脂肪燃焼筋カトレーニング&ストレッチ 参加者23人 (2)ZUMBA講座 参加者8人 (3)からだすっきりヨガ講座 参加者21人 (4)ピラティス 骨盤調整講座 参加者24人 (5)ストラーラヨガ講座 参加者8人 (6)フラワーアレンジメント講座 参加者11人 ・勤労感謝ウィーク・イベント(令和5年11月23日) 1回開催 延べ105人参加 (1)ビームライフ体験 参加者39人 (2)健康に関する講演&マジックショー 参加者45人 (3)体操体験会 参加者21人 ③利用者 合計18,268人(アリーナ:10,595人、会議室:3,878人、和室:2,394人、アスレチックルーム :1,401人)									

3. 事業の課題

課題	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加している。また、直営化後から浴室・サウナ・アスレチックジムが廃止になったこと等により年間利用者数も減少傾向にある。そのため、修繕計画を立てると共に、アクシスを活用してもらえるようイベントや講座を継続して行う必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	直営化から1年半が経過し、今後の和光市勤労福祉センターの在り方について、市の財政負担を抑えつつ、いかに効果的に運営するか検討するため、「和光市勤労福祉センター運営検討委員会」を設置する。また、ニーズ調査のため、市民・事業者・利用者を対象としたアンケートも実施し、アクシスに求められている事業や在り方について、設置目的を逸脱しない範囲で展開していく。

事業名			勤労青少年ホーム管理運営					事業コード	1155001	計画コード	9-5-3	
款	05	労働費			項	01	労働諸費		目	02	勤労青少年ホーム管理費	
所属名(部局・課)			市民環境部				産業支援課			担当名	産業育成支援担当	
施策			9-5	就労支援対策の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	勤労青少年(35歳以下)
意図・目的	社会人として健全に育成している。
活動概要	勤労青少年が趣味、スポーツ、語学等の習得や余暇の活用などに利用できるように、趣味、料理教室等の講座の開催と様々な余暇の活用などのクラブ活動を支援する。また、若年者フリーターや就職困難者等の相談や就職支援講座を実施して就職の支援を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	講座等開催数	回	1	1	3	3	3	3		
	②	就職相談等支援事業数	回	1	1	3	5	2	3		
	③	青少年利用者数	人	1,238	1,258	389	2,000	2,000	2,000		
	④	若年者支援参加数	人	4	2	7	60	60	60		
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	18,718	19,575	18,677		18,478	不用額	
		決算額		千円	18,123	19,385	18,469			208	
		財源内訳	一般財源		千円	18,123	19,385		18,469		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		98.9%
成果の説明	【講座等開催】 ・令和5年12月22日ものづくりワークショップ「自分だけの石鹸を手作りしよう!」を開催。 参加者 8名(35歳未満参加者4名) 内容:和光ブランド認定商品「佐介石鹸」を企画・制作している講師から起業についての話を聞きながら、思い思いの形の無添加石鹸を作る勤労者の余暇活動の一環としてのワークショップ、起業を目指す方への情報提供、和光ブランドの知名度向上の目的で開催したが、勤労者の参加は少なく、講座趣旨に応じた開催日時の見直しが課題となった。 ・令和5年3月2日「未経験から学ぶ在宅ワークの方法」を開催。 参加者 3名(35歳未満参加者2名) 内容:在宅ワーク、副業の始め方について講義を実施。講座の趣旨から勤労者の参加を募りたいため、平日ではなく土曜日に開催した。実際の参加者は少なかったが、参加者全員が実際に在宅ワークを始めることを検討中の方であり、講座趣旨に合致した対象者が受講した。 ・令和5年3月9日「ゼロから始める起業セミナー」 参加者 4名(35歳未満参加者2名) 内容:起業の基礎について講義を実施。3月2日と3月9日の講座を両方受講した方も2名いた。 【施設利用状況】 1 利用者の状況 令和6年3月31日現在 (1) 登録団体数 98団体(うち通常団体4団体、特別団体72団体、個人利用22名) (2) 利用状況										

3. 事業の課題

課題	就職相談等支援事業が、ハローワークの求人情報を施設入口に掲示することに留まっており、実際に相談者が来所した際の対応についてスキームが定まっていない。 講座参加者が少ないため、講座の内容について工夫が必要である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	管理運営業務委託において、勤労青少年ホームの運営目的に資する事業を年間4事業以上企画・立案・実施する仕様により委託契約を締結したことで、勤労青少年ホームの利用促進事業を強化する。 また、地域のコミュニティの場としての役割が大きいので、勤労青少年の施設利用に支障のない範囲で地域住民の利用を認める。